

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信	特化型
信託期間	2025年3月14日まで（2015年3月20日設定）	
運用方針	<p>円建ての外国投資信託であるAMP オーストラリアリート ファンドの投資信託証券への投資を通じて、主としてオーストラリアの不動産投資信託証券への実質的な投資に加えて、円に対する豪ドルのコール・オプションおよびオーストラリアの不動産投資信託指数のコール・オプションの売却によってオプション・プレミアム収入を獲得する、カバード・コール戦略を実質的に活用します。なお、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。円建ての外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。</p> <p>不動産投資信託証券等の運用にあたっては、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドが行います。また、カバード・コール戦略の運用は、クレディ・スイス・マネジメント（ケイマン）リミテッドが行います。</p>	
主要運用対象	三菱UFJ/AMPオーストラリアREITファンド<Wプレミアム>（毎月決算型）	AMP オーストラリア リート ファンドおよびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。
	AMPオーストラリアリートファンド	オーストラリアの不動産投資信託証券、ならびに円に対する豪ドルのコール・オプション取引およびオーストラリアの不動産投資信託指数のコール・オプション取引を主要投資対象とします。
	マネー・マーケット・マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。外貨建資産への直接投資は行いません。
主な組入制限	投資信託証券への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第3計算期末までの間は、収益の分配は行いません。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

- ファンドは特化型運用を行います。一般社団法人投資信託協会は信用リスク集中回避を目的とした投資制限（分散投資規制）を設けており、投資対象に支配的な銘柄（寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い銘柄）が存在し、又は存在することとなる可能性が高いものを、特化型としています。
  - ファンドは、オーストラリアの不動産投資信託証券に実質的に投資します。オーストラリアの不動産投資信託証券には、寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い支配的な銘柄が存在するため、特定の銘柄への投資が集中することがあり、当該支配的な銘柄に経営破綻や経営・財務状況の悪化が生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。
- \* 寄与度とは、投資対象候補銘柄の時価総額の合計額における一発行体あたりの時価総額が占める比率または運用管理等に用いる指数における一発行体あたりの構成比率を指します。

## 運用報告書（全体版）

# 三菱UFJ/AMP オーストラリア REITファンド <Wプレミアム>（毎月決算型）

愛称：コアラランド



第49期（決算日：2019年4月15日）  
 第50期（決算日：2019年5月15日）  
 第51期（決算日：2019年6月17日）  
 第52期（決算日：2019年7月16日）  
 第53期（決算日：2019年8月15日）  
 第54期（決算日：2019年9月17日）



## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「三菱UFJ/AMP オーストラリアREITファンド<Wプレミアム>（毎月決算型）」は、去る9月17日に第54期の決算を行いましたので、法令に基づいて第49期～第54期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。  
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



## 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
 フリーダイヤル **0120-151034**  
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、  
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近30期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 価 額			債 券 組 入 比	債 券 先 物 比	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 金				
	円		円		%	%	%	百万円
25期(2017年4月17日)	7,025		130		2.5	0.0	99.4	9,119
26期(2017年5月15日)	6,755		130		△2.0	—	98.0	8,510
27期(2017年6月15日)	6,649		130		0.4	—	98.4	7,943
28期(2017年7月18日)	6,213		130		△4.6	—	99.0	7,117
29期(2017年8月15日)	6,047		130		△0.6	—	99.0	6,743
30期(2017年9月15日)	6,163		130		4.1	—	99.1	6,654
31期(2017年10月16日)	6,019		130		△0.2	—	99.2	6,299
32期(2017年11月15日)	6,024		100		1.7	—	99.4	6,017
33期(2017年12月15日)	6,098		100		2.9	—	99.2	5,833
34期(2018年1月15日)	5,746		100		△4.1	—	99.3	5,281
35期(2018年2月15日)	5,144		100		△8.7	—	99.4	4,553
36期(2018年3月15日)	5,121		100		1.5	—	99.1	4,423
37期(2018年4月16日)	4,998		100		△0.4	—	99.1	4,188
38期(2018年5月15日)	5,054		100		3.1	—	99.3	4,162
39期(2018年6月15日)	5,031		100		1.5	—	99.0	4,086
40期(2018年7月17日)	5,105		100		3.5	—	99.4	4,034
41期(2018年8月15日)	4,899		100		△2.1	—	99.2	3,825
42期(2018年9月18日)	4,879		100		1.6	—	99.1	3,695
43期(2018年10月15日)	4,450		100		△6.7	—	97.9	3,302
44期(2018年11月15日)	4,519		100		3.8	—	98.9	3,337
45期(2018年12月17日)	4,533		70		1.9	—	98.6	3,318
46期(2019年1月15日)	4,379		70		△1.9	—	98.6	3,209
47期(2019年2月15日)	4,534		70		5.1	—	98.5	3,316
48期(2019年3月15日)	4,609		70		3.2	—	98.5	3,333
49期(2019年4月15日)	4,631		70		2.0	—	98.6	3,363
50期(2019年5月15日)	4,348		70		△4.6	—	98.4	3,146
51期(2019年6月17日)	4,430		70		3.5	—	98.5	3,191
52期(2019年7月16日)	4,516		70		3.5	—	99.0	3,192
53期(2019年8月15日)	4,187		70		△5.7	—	98.5	2,946
54期(2019年9月17日)	4,143		70		0.6	—	98.6	2,915

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	投 資 信 託 券 率
			騰 落 率	騰 落 率				
第49期	(期 首) 2019年3月15日	円 4,609	% -	% -	% -	% -	% 98.5	% 98.5
	3月末	4,666	1.2	-	-	-	98.4	98.4
	(期 末) 2019年4月15日	4,701	2.0	-	-	-	98.6	98.6
第50期	(期 首) 2019年4月15日	4,631	-	-	-	-	98.6	98.6
	4月末	4,582	△1.1	-	-	-	99.0	99.0
	(期 末) 2019年5月15日	4,418	△4.6	-	-	-	98.4	98.4
第51期	(期 首) 2019年5月15日	4,348	-	-	-	-	98.4	98.4
	5月末	4,414	1.5	-	-	-	98.5	98.5
	(期 末) 2019年6月17日	4,500	3.5	-	-	-	98.5	98.5
第52期	(期 首) 2019年6月17日	4,430	-	-	-	-	98.5	98.5
	6月末	4,507	1.7	-	-	-	98.3	98.3
	(期 末) 2019年7月16日	4,586	3.5	-	-	-	99.0	99.0
第53期	(期 首) 2019年7月16日	4,516	-	-	-	-	99.0	99.0
	7月末	4,432	△1.9	-	-	-	98.7	98.7
	(期 末) 2019年8月15日	4,257	△5.7	-	-	-	98.5	98.5
第54期	(期 首) 2019年8月15日	4,187	-	-	-	-	98.5	98.5
	8月末	4,228	1.0	-	-	-	98.7	98.7
	(期 末) 2019年9月17日	4,213	0.6	-	-	-	98.6	98.6

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第49期～第54期：2019年3月16日～2019年9月17日

## ▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第49期首	4,609円
第54期末	4,143円
既払分配金	420円
騰落率	-1.1%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

## 基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ1.1%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

## 基準価額の主な変動要因

### 上昇要因

豪州連邦準備銀行（RBA）による利下げ観測の高まりや利下げの実施に加え、シドニーやメルボルンの住宅市場に対する投資家心理が改善したことなどを背景に、オーストラリアREIT市況がローカルベースで上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。保有銘柄の中では、住宅用不動産などを手掛ける「MIRVAC GROUP」（各種・分散投資型）や、オフィス用不動産や物流不動産などを手掛ける「CHARTER HALL GROUP」（各種・分散投資型）などが上昇しました。オプション・プレミアム収入を獲得したことが基準価額の上昇要因となりました。

### 下落要因

オーストラリアの長期金利が低下したことや、世界経済への警戒感などを背景にリスク回避の円買いが進行したことなどから、豪ドルが対円で下落したことが基準価額の下落要因となりました。オーストラリアのREIT指数のコール・オプションの売却に係る損失などが、基準価額の下落要因となりました。

第49期～第54期：2019年3月16日～2019年9月17日

## 投資環境について

### ▶ オーストラリアREIT市況

**オーストラリアREIT市況は、当作成期間を通しては上昇しました。**

当作成期首から2019年4月にかけては、2019年初頭からの上昇を受けた利益確定売りの動きや同国・長期金利の動向などを背景に軟調な展開となったものの、5月から7月上旬にかけては、RBAによる利下げ観測の高まりや、同国の長期金利が低下したことなどが好感され上昇しました。また、連邦総選挙で与党保守連合が政権を維持したことや、豪健全性規制庁（APRA）による融資規制の廃止提案などを背景に、同国の住宅市場に対する底打ち期待が高まったことなども、同市場の上昇をサポートする要因となりました。

7月中旬から当作成期末にかけては、オーストラリアREIT市況の高値警戒感に加え、米中貿易摩擦や世界経済への不透明感などを受けた投資家心理の悪化などを背景に下落したものの、当作成期を通してみるとオーストラリアREIT市況は上昇しました。

### ▶ 為替市況

**豪ドルは、当作成期間を通しては対円で下落しました。**

当作成期首から2019年4月中旬にかけては、豪ドルは対円で上昇したものの、4月下旬から8月にかけては、RBAによる利下げ観測の高まりや利下げの実施に加え、世界経済への不透明感などを背景にリスク回避の円買いが進行したことなどから、豪ドルは対円で下落しました。

9月から当作成期末にかけては、金融市場への過度な警戒感が一部後退したことなどから投資家心理が改善し、豪ドルは対円で上昇したものの、当作成期を通してみると豪ドルは対円で下落しました。

### ▶ 国内短期金融市場

**無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。**

当作成期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、2019年9月17日のコール・レートは-0.065%となりました。

## ▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ 三菱UFJ／AMP オーストラリアREITファンド<Wプレミアム>（毎月決算型）

外国投資信託であるAMP オーストラリアリート ファンドを高位に組み入れた運用を行いました。また、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。

### ▶ AMP オーストラリア リート ファンド

オーストラリアのREITを高位に組み入れる運用を行うとともに、円に対する豪ドルのコール・オプションおよびオーストラリアのREIT指数のコール・オプションの売却によってオプション・プ

レミアム収入を獲得する、カバード・コール戦略を活用する運用を行いました。投資するREITについては、中長期的な不動産価値の向上による恩恵が期待される、店舗用の優良な物件を重視しながら、オフィス用REITについては都市毎の経済環境によって選別的な運用を行いました。

当作成期は、各種・分散投資型の投資比率を引き上げた一方、店舗用の投資比率を引き下げました。

### ▶ マネー・マーケット・マザーファンド コール・ローン等短期金融商品を活用し、 利子等収益の確保をめざした運用を行いました。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第49期 2019年3月16日～ 2019年4月15日	第50期 2019年4月16日～ 2019年5月15日	第51期 2019年5月16日～ 2019年6月17日	第52期 2019年6月18日～ 2019年7月16日	第53期 2019年7月17日～ 2019年8月15日	第54期 2019年8月16日～ 2019年9月17日
当期分配金 （対基準価額比率）	<b>70</b> (1.489%)	<b>70</b> (1.584%)	<b>70</b> (1.556%)	<b>70</b> (1.526%)	<b>70</b> (1.644%)	<b>70</b> (1.662%)
当期の収益	70	70	68	68	66	65
当期の収益以外	—	—	1	1	3	4
翌期繰越分配対象額	872	873	871	870	867	862

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

### ▶三菱UFJ／AMP オーストラリアREITファンド<Wプレミアム>（毎月決算型）

外国投資信託への投資を通じてオーストラリアのREITを高位に組み入れ、値上がり利益の獲得および配当収益の確保をめざします。また、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行います。

### ▶AMP オーストラリアリートファンド

オーストラリアREITは、RBAによる金融緩和策などを背景に低金利環境の持続期待が高まっており、実物不動産市場はテナントからの安定的な需要や、主要都市の物件供給が限定的であることなどが同市場の成長を下支えするとみています。世界の金融市場は、米中貿易摩擦などを受けてリスク回避的な動きが強まっているものの、オーストラリアREITは、相対的に高い配当利回りやディフェンシブ性に着目した資金流入の高まりなどが期待されます。不動産の用途別では、事業環境が良好な工業用不動産や、優良オフィス不動産のファンダメンタルズが良好であることに加え、ここ数年に

住宅価格の調整が続いた住宅市場は、シドニーやメルボルンなどで底打ち期待が生まれつつあります。

運用については、不動産価値の向上が期待される優良な物件を重視した運用を行い、中長期的な信託財産の成長と配当収益の確保をめざします。セクター別では、持続的な賃料の上昇が期待される工業用REITに注目しているほか、個別銘柄では、高い物件開発能力を有する銘柄に注目しています。

また、円に対する豪ドルのコール・オプションおよびオーストラリアのREIT指数のコール・オプションの売却によってオプション・プレミアム収入を獲得する、カバード・コール戦略を活用します。

### ▶マネー・マーケット・マザーファンド

物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

2019年3月16日～2019年9月17日

## 1万口当たりの費用明細

項目	第49期～第54期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	24	0.548	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(9)	(0.204)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(15)	(0.330)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.014)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	24	0.550	

作成期中の平均基準価額は、4,450円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

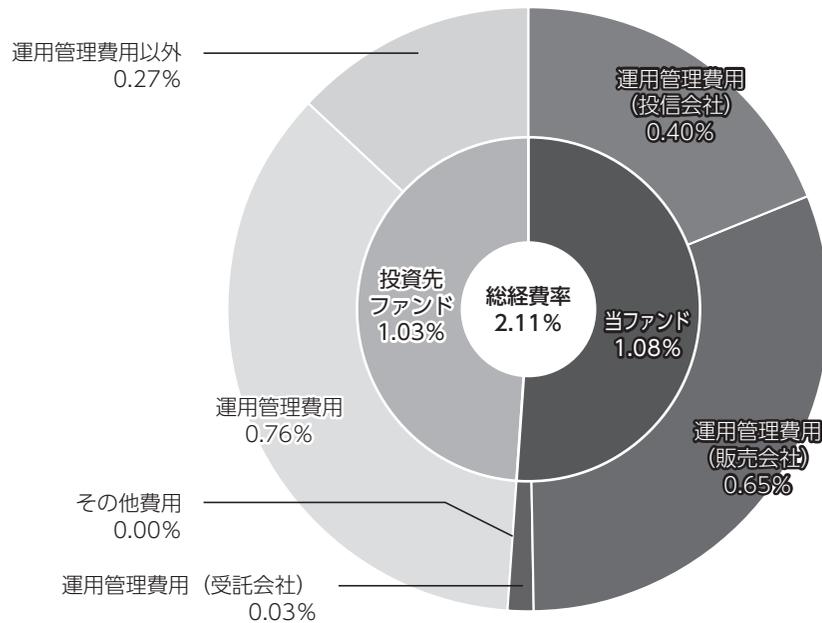
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.11%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	2.11
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.08
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.76
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.27

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2019年3月16日～2019年9月17日)

## 投資信託証券

銘柄		第49期～第54期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	AMP オーストラリア リート ファンド	千口 88	千円 363,431	千口 110	千円 449,800

(注) 金額は受渡代金。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年3月16日～2019年9月17日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2019年9月17日現在)

## ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		第48期末		第54期末	
		口数	口数	評価額	比率
	AMP オーストラリア リート ファンド	千口 769	千口 748	千円 2,874,748	% 98.6
	合計	769	748	2,874,748	98.6

(注) 比率は三菱UFJ/AMP オーストラリアREITファンド&lt;Wプレミアム&gt; (毎月決算型) の純資産総額に対する比率。

## 親投資信託残高

銘柄		第48期末		第54期末	
		口数	口数	評価額	評価額
	マネー・マーケット・マザーファンド	千口 11,293	千口 11,293	千円 11,500	

## ○投資信託財産の構成

(2019年9月17日現在)

項 目	第54期末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 2,874,748	% 96.8
マネー・マーケット・マザーファンド	11,500	0.4
コール・ローン等、その他	84,077	2.8
投資信託財産総額	2,970,325	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第49期末	第50期末	第51期末	第52期末	第53期末	第54期末
	2019年4月15日現在	2019年5月15日現在	2019年6月17日現在	2019年7月16日現在	2019年8月15日現在	2019年9月17日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	3,422,771,298	3,199,614,032	3,248,683,291	3,262,870,260	2,998,706,219	2,970,325,699
コール・ローン等	94,260,431	91,059,506	93,961,489	90,660,651	85,652,400	84,076,835
投資信託受益証券(評価額)	3,317,010,867	3,097,054,526	3,143,221,802	3,160,709,609	2,901,553,819	2,874,748,864
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	11,500,000	11,500,000	11,500,000	11,500,000	11,500,000	11,500,000
(B) 負債	58,828,787	53,579,481	57,355,730	70,181,586	52,442,013	54,387,526
未払収益分配金	50,847,613	50,648,655	50,431,792	49,485,463	49,251,058	49,262,692
未払解約金	4,907,068	20,784	3,808,821	17,913,837	433,599	2,229,737
未払信託報酬	3,064,723	2,901,233	3,105,574	2,773,653	2,749,020	2,886,253
未払利息	154	68	193	196	57	153
その他未払費用	9,229	8,741	9,350	8,437	8,279	8,691
(C) 純資産総額(A-B)	3,363,942,511	3,146,034,551	3,191,327,561	3,192,688,674	2,946,264,206	2,915,938,173
元本	7,263,944,838	7,235,522,218	7,204,541,851	7,069,351,906	7,035,865,550	7,037,527,477
次期繰越損益金	△3,900,002,327	△4,089,487,667	△4,013,214,290	△3,876,663,232	△4,089,601,344	△4,121,589,304
(D) 受益権総口数	7,263,944,838口	7,235,522,218口	7,204,541,851口	7,069,351,906口	7,035,865,550口	7,037,527,477口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,631円	4,348円	4,430円	4,516円	4,187円	4,143円

## ○損益の状況

項 目	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期	第54期
	2019年3月16日～ 2019年4月15日	2019年4月16日～ 2019年5月15日	2019年5月16日～ 2019年6月17日	2019年6月18日～ 2019年7月16日	2019年7月17日～ 2019年8月15日	2019年8月16日～ 2019年9月17日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	55,901,304	54,221,755	50,630,307	49,556,972	49,389,554	48,718,265
受取配当金	55,903,851	54,224,220	50,632,556	49,560,104	49,391,590	48,720,107
受取利息	—	—	4	—	—	17
支払利息	△ 2,547	△ 2,465	△ 2,253	△ 3,132	△ 2,036	△ 1,859
(B) 有価証券売買損益	13,516,518	△ 205,472,740	61,477,333	63,748,093	△ 228,645,840	△ 27,633,160
売買益	14,252,472	405,266	61,851,988	65,138,270	869,219	98,669
売買損	△ 735,954	△ 205,878,006	△ 374,655	△ 1,390,177	△ 229,515,059	△ 27,731,829
(C) 信託報酬等	△ 3,073,952	△ 2,909,974	△ 3,114,924	△ 2,782,090	△ 2,757,299	△ 2,894,944
(D) 当期損益金(A+B+C)	66,343,870	△ 154,160,959	108,992,716	110,522,975	△ 182,013,585	18,190,161
(E) 前期繰越損益金	△ 2,979,092,919	△ 2,938,014,311	△ 3,109,083,867	△ 2,975,992,467	△ 2,875,520,753	△ 3,088,456,459
(F) 追加信託差損益金	△ 936,405,665	△ 946,663,742	△ 962,691,347	△ 961,708,277	△ 982,815,948	△ 1,002,060,314
(配当等相当額)	( 354,527,291)	( 354,454,393)	( 354,770,275)	( 349,668,435)	( 350,400,588)	( 352,085,411)
(売買損益相当額)	(△1,290,932,956)	(△1,301,118,135)	(△1,317,461,622)	(△1,311,376,712)	(△1,333,216,536)	(△1,354,145,725)
(G) 計(D+E+F)	△ 3,849,154,714	△ 4,038,839,012	△ 3,962,782,498	△ 3,827,177,769	△ 4,040,350,286	△ 4,072,326,612
(H) 収益分配金	△ 50,847,613	△ 50,648,655	△ 50,431,792	△ 49,485,463	△ 49,251,058	△ 49,262,692
次期繰越損益金(G+H)	△ 3,900,002,327	△ 4,089,487,667	△ 4,013,214,290	△ 3,876,663,232	△ 4,089,601,344	△ 4,121,589,304
追加信託差損益金	△ 936,405,665	△ 946,663,742	△ 962,691,347	△ 961,708,277	△ 982,815,948	△ 1,002,060,314
(配当等相当額)	( 354,527,291)	( 354,454,393)	( 354,770,275)	( 349,668,435)	( 350,400,588)	( 352,085,411)
(売買損益相当額)	(△1,290,932,956)	(△1,301,118,135)	(△1,317,461,622)	(△1,311,376,712)	(△1,333,216,536)	(△1,354,145,725)
分配準備積立金	279,147,460	277,490,121	273,397,061	265,752,088	259,664,216	254,740,187
繰越損益金	△ 3,242,744,122	△ 3,420,314,046	△ 3,323,920,004	△ 3,180,707,043	△ 3,366,449,612	△ 3,374,269,177

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## &lt;注記事項&gt;

①作成期首(前作成期末)元本額 7,232,863,259円

  作成期中追加設定元本額 320,043,326円

  作成期中一部解約元本額 515,379,108円

  また、1口当たり純資産額は、作成期末0.4143円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は4,121,589,304円です。

③分配金の計算過程

項 目	2019年3月16日～ 2019年4月15日	2019年4月16日～ 2019年5月15日	2019年5月16日～ 2019年6月17日	2019年6月18日～ 2019年7月16日	2019年7月17日～ 2019年8月15日	2019年8月16日～ 2019年9月17日
費用控除後の配当等収益額	53,425,787円	51,311,768円	49,223,583円	48,340,035円	46,632,215円	45,823,274円
費用控除後・繰越大損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	354,527,291円	354,454,393円	354,770,275円	349,668,435円	350,400,588円	352,085,411円
分配準備積立金額	276,569,286円	276,827,008円	274,605,270円	266,897,516円	262,283,059円	258,179,605円
当ファンドの分配対象収益額	684,522,364円	682,593,169円	678,599,128円	664,905,986円	659,315,862円	656,088,290円
1万口当たり収益分配対象額	942円	943円	941円	940円	937円	932円
1万口当たり分配金額	70円	70円	70円	70円	70円	70円
収益分配金金額	50,847,613円	50,648,655円	50,431,792円	49,485,463円	49,251,058円	49,262,692円

## ○分配金のお知らせ

	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期	第54期
1 万口当たり分配金 (税込み)	70円	70円	70円	70円	70円	70円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

## ◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

\* 三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

## ＜参考＞投資する投資信託証券およびその概要

<b>ファンド名</b>	AMP オーストラリア リート ファンド
<b>運用方針</b>	主としてオーストラリアの不動産投資信託証券に投資することにより、資産の中長期的な成長をめざします。また、原則として円に対する豪ドルのコール・オプションおよびオーストラリアの不動産投資信託指数のコール・オプションを売却し、オプションのプレミアム収入の獲得をめざします。
<b>主要運用対象</b>	オーストラリアの不動産投資信託証券、ならびに円に対する豪ドルのコール・オプション取引およびオーストラリアの不動産投資信託指数のコール・オプション取引
<b>主な組入制限</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーストラリアの不動産投資信託証券について、同一の発行体が発行する銘柄への投資比率は、純資産総額の35%以内とします。</li> <li>・オーストラリア国債への投資比率は、取得時において純資産総額の10%以内とします。</li> <li>・対円での為替ヘッジは行いません。</li> </ul>
<b>決算日</b>	毎年9月30日
<b>分配方針</b>	原則として毎月分配を行う方針です。

## AMP オーストラリア リート ファンド

運用計算書、純資産変動計算書、投資有価証券明細表は、入手可能なAUDITED ANNUAL REPORT SEPTEMBER 30, 2018版から抜粋して作成しています。

## 1. 運用計算書

(2017年10月1日～2018年9月30日)

	AMP オーストラリア リート ファンド 円
<b>投資収入：</b>	
純配当収入	172,516,355
預金利息	621,334
その他収益	146,299,288
	<b>319,436,977</b>
<b>費用：</b>	
管理費用、保管費用	(5,839,078)
代行費用、マネジャー費用	(9,342,172)
その他費用	(5,895,853)
その他税金	(2,508,944)
監査報酬	(1,678,889)
副マネージャー費用	(20,546,422)
副保管費用	(2,390,000)
受託費用	(372,469)
	<b>(48,573,827)</b>
<b>投資純収入</b>	<b>270,863,150</b>
<b>実現純利益(損失)：</b>	
実現純利益(損失) 投資有価証券	(150,368,043)
実現純利益(損失) その他資産、負債の外貨換算	(6,827,934)
実現純利益(損失) 為替予約	(3,501,829)
実現純利益(損失) オプション	(146,016,695)
	<b>(306,714,501)</b>
<b>実現純利益(損失)</b>	<b>(306,714,501)</b>
<b>未実現評価益(評価損)の純変動：</b>	
投資有価証券	49,713,901
為替予約	(217,527)
その他資産、負債の外貨換算	1,192,653
オプション	(36,134,669)
	<b>14,554,358</b>
<b>運用による純資産の純増(減)額</b>	<b>(21,296,993)</b>

(注) データ提供元：クレディ・スイス・マネジメント(ケイマン) リミテッド

(注) 現時点で入手し得る直近の決算期分を掲載しています。

## 2. 純資産変動計算書

(2017年10月1日～2018年9月30日)

AMP オーストラリア  
リート ファンド  
円

<b>期首純資産</b>	<b>6,445,396,335</b>
<b>投資純収入</b>	<b>270,863,150</b>
<b>実現純利益(損失) :</b>	
実現純利益(損失) 投資有価証券	(150,368,043)
実現純利益(損失) その他資産、負債の外貨換算	(6,827,934)
実現純利益(損失) 為替予約	(3,501,829)
実現純利益(損失) オプション	(146,016,695)
	(306,714,501)
<b>未実現評価益(評価損)の純変動 :</b>	
投資有価証券	49,713,901
為替予約	(217,527)
その他資産、負債の外貨換算	1,192,653
オプション	(36,134,669)
	14,554,358
出資	946,098,361
償還	(2,839,950,000)
分配金額	(920,898,361)
	(2,814,750,000)
<b>期末純資産</b>	<b>3,609,349,342</b>

(注) データ提供元 : クレディ・スイス・マネジメント (ケイマン) リミテッド

(注) 現時点で入手し得る直近の決算期分を掲載しています。

## 3. 投資有価証券明細表

(2018年9月30日現在)

(円で表示)

銘柄	通貨	口数	取得原価	市場価格	対純資産比率 (%)
<b>TRANSFERABLE SECURITIES ADMITTED TO AN OFFICIAL STOCK EXCHANGE OR DEALT IN ON ANOTHER REGULATED MARKET</b>					
<b>REAL ESTATE INVESTMENT TRUST</b>					
<i>AUSTRALIA</i>					
ABACUS PROPERTY GROUP	AUD	208,257	58,620,406	58,363,796	1.62%
BWP TRUST	AUD	111,722	29,170,433	30,667,240	0.85%
CENTURIA METROPOLITAN REIT	AUD	137,330	28,040,285	28,554,560	0.79%
CHARTER HALL GROUP	AUD	335,389	156,893,248	197,356,465	5.47%
CHARTER HALL LONG WALE REIT	AUD	150,044	52,423,415	51,791,377	1.43%
CHARTER HALL RETAIL REIT	AUD	201,397	67,795,130	70,179,191	1.94%
DEXUS	AUD	410,826	303,375,259	356,542,567	9.88%
GOODMAN GROUP	AUD	788,889	485,780,234	671,684,260	18.61%
INVESTA OFFICE FUND	AUD	135,104	50,109,513	61,291,015	1.70%
MIRVAC GROUP	AUD	1,390,421	257,679,240	275,393,006	7.63%
NATIONAL STORAGE REIT	AUD	391,443	54,644,678	53,724,765	1.49%
SCENTRE GROUP	AUD	2,272,649	814,579,605	741,502,135	20.55%
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA PROPERTY GROUP	AUD	429,721	79,878,996	84,759,301	2.35%
STOCKLAND	AUD	785,862	319,827,497	268,030,321	7.43%
THE GPT GROUP	AUD	645,254	271,483,948	276,285,417	7.65%
VICINITY CENTRES	AUD	924,193	251,913,953	199,000,184	5.51%
			3,282,215,840	3,425,125,600	94.90%
<i>FRANCE</i>					
UNIBAIL-RODAMCO-WESTFIELD	AUD	152,157	370,543,102	176,569,692	4.89%
			370,543,102	176,569,692	4.89%
<b>TOTAL INVESTMENTS IN SECURITIES</b>			<b>3,652,758,942</b>	<b>3,601,695,292</b>	<b>99.79%</b>
CASH AT BANKS				17,827,412	0.49%
INVESTMENTS IN OPTIONS				(46,628,767)	-1.29%
OTHER NET ASSETS				36,455,405	1.01%
<b>TOTAL NET ASSETS</b>				<b>3,609,349,342</b>	<b>100.00%</b>

## マネー・マーケット・マザーファンド

### 《第29期》決算日2019年5月20日

[計算期間：2018年11月21日～2019年5月20日]

「マネー・マーケット・マザーファンド」は、5月20日に第29期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第29期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準 円	価額		債組 入比	券率 %	債先 物比	券率 %	純資 産額
		騰落	中率					
25期(2017年5月22日)	10,184		0.0		—		—	百万円 1,681
26期(2017年11月20日)	10,184		0.0		—		—	1,266
27期(2018年5月21日)	10,184		0.0		—		—	1,269
28期(2018年11月20日)	10,183		△0.0		—		—	1,882
29期(2019年5月20日)	10,183		0.0		—		—	1,464

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

### ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準 円	価額		債組 入比	券率 %	債先 物比	券率 %
		騰落	率				
(期首) 2018年11月20日	10,183		—		—		—
11月末	10,183		0.0		—		—
12月末	10,183		0.0		—		—
2019年1月末	10,183		0.0		—		—
2月末	10,183		0.0		—		—
3月末	10,183		0.0		—		—
4月末	10,183		0.0		—		—
(期末) 2019年5月20日	10,183		0.0		—		—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

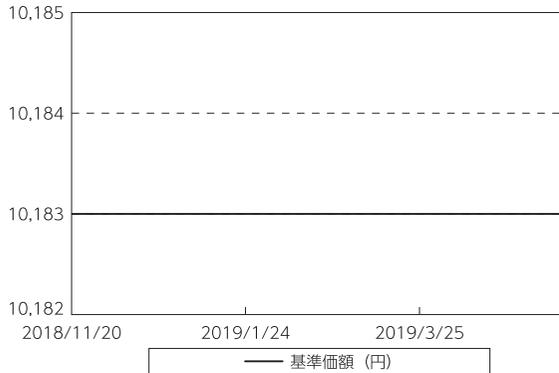
## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ横ばいとなりました。

基準価額等の推移



## ●投資環境について

## ◎国内短期金融市場

- ・当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、2019年5月20日のコール・レートは-0.068%となりました。

## ●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。その結果、利子等収益は積み上がったものの、運用資金に対するマイナス金利適用などの影響を受けて、基準価額は横ばいとなりました。

## ○今後の運用方針

## ◎運用環境の見通し

- ・物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

## ◎今後の運用方針

- ・コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2018年11月21日～2019年5月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 ( そ の 他 )	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、10,183円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2018年11月21日～2019年5月20日)

## その他有価証券

		買 付 額	売 付 額
国 内	コマーシャル・ペーパー	千円 232,199,828	千円 232,599,835

(注) 金額は受渡代金。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年11月21日～2019年5月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2019年5月20日現在)

## 国内その他有価証券

区 分	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 1,399,996	% 95.6

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

## ○投資信託財産の構成

(2019年5月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
その他有価証券	千円 1,399,996	% 95.5
コール・ローン等、その他	65,419	4.5
投資信託財産総額	1,465,415	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年5月20日現在)

項目	当期末 円
(A) 資産	1,465,415,191
コール・ローン等	65,418,280
その他有価証券(評価額)	1,399,996,911
(B) 負債	543,682
未払解約金	543,565
未払利息	117
(C) 純資産総額(A-B)	1,464,871,509
元本	1,438,552,736
次期繰越損益金	26,318,773
(D) 受益権総口数	1,438,552,736口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,183円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 1,848,959,925円  
期中追加設定元本額 1,374,000,391円  
期中一部解約元本額 1,784,407,580円  
また、1口当たり純資産額は、期末1.0183円です。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド	350,007,595円
三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド(毎月決算型)	2,280,337円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	5,874,002円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	1,048,688円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース>(毎月分配型)	111,354円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	20,147,276円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	52,804,813円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>(毎月分配型)	635,856円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>(毎月分配型)	3,078,471円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	129,095,075円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<中国元コース>(毎月分配型)	89,620円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<インドネシアルピアコース>(毎月分配型)	1,033,322円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	212,322円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド(毎月分配型)	16,402,315円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド(毎月分配型)	1,378,553円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>(毎月分配型)	9,201,705円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	270,734円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	358,088円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	667,045円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	3,836,590円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	265,842円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	1,037,414円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	5,850,843円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	2,016,707円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	1,145,161円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	43,682,881円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	1,513,806円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース>(毎月分配型)	1,182,898円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	82,857,749円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	847,016円

## ○損益の状況 (2018年11月21日~2019年5月20日)

項目	当期 円
(A) 配当等収益	△ 52,807
受取利息	5,192
支払利息	△ 57,999
(B) 保管費用等	△ 857
(C) 当期損益金(A+B)	△ 53,664
(D) 前期繰越損益金	33,882,688
(E) 追加信託差損益金	25,144,076
(F) 解約差損益金	△32,654,327
(G) 計(C+D+E+F)	26,318,773
次期繰越損益金(G)	26,318,773

(注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)	600,566円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	992,946円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	1,193,379円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	88,852円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	990,674円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム (毎月分配型)	19,635,282円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)	6,336,371円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)	11,400,264円
三菱UFJ 米国リートファンドA<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491,836円
三菱UFJ 米国リートファンドB<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	98,368円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (毎月分配型)	7,661,389円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド (年2回分配型)	30,649円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (年2回分配型)	99,465円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (年2回分配型)	69,757円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	30,457円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (年2回分配型)	641,668円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	1,559,264円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	4,881,309円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	19,658円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491,449円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,828,976円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	7,717,476円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	211,113円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	1,936,118円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	9,829円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	5,504,257円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	13,128,307円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	2,424,660円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	9,340,694円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	1,611,189円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	6,722,976円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (毎月分配型)	13,206,980円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (年2回分配型)	2,304,081円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (年2回分配型)	2,664,317円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (年2回分配型)	421,681円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	961,645円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (年2回分配型)	608,110円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (年2回分配型)	734,038円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (年2回分配型)	601,281円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンドA>	1,506,013円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンドB>	1,355,388円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (毎月決算型)	5,144,832円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	8,859,081円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (年1回決算型)	1,609,969円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	2,065,331円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Cコース (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	79,543円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Dコース (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	50,083円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (毎月分配型)	3,828,727円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (毎月分配型)	9,387,547円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	3,545,187円

米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	8,124,755円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)	2,990,177円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	3,377,211円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (毎月分配型)	8,478,079円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (年2回分配型)	4,145,749円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	8,067,104円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	3,319,056円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	20,075,917円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	1,616,484円
三菱UFJ/AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド 豪ドル円プレミアム (毎月決算型)	5,899,118円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (毎月分配型)	10,826,836円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (年2回分配型)	2,026,238円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (毎月分配型)	128,363円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (年2回分配型)	79,540円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	1,375,824円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	698,261円
マルチストラテジー・ファンド (ラップ向け)	491,015円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	564,702円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	89,371円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	983円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<米ドル投資型> (3ヵ月決算型)	3,063,931円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	6,324,266円
三菱UFJ ターゲット・イヤール・ファンド2030 (確定拠出年金)	3,228,387円
マクロ・トータル・リターン・ファンド	9,820円
スマート・プロテクター90 (限定追加型) 2016-12	6,313,826円
米国政策テーマ株式オープン (為替ヘッジあり)	19,600円
米国政策テーマ株式オープン (為替ヘッジなし)	206,110円
スマート・プロテクター90オープン	981,933円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (資産成長型)	383,914円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (資産成長型)	305,382円
テンブルトン新興国小型株ファンド	49,097円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり> (毎月決算型)	3,683,229円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり> (年2回決算型)	17,656,128円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	5,843,481円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし> (年2回決算型)	25,393,755円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	36,457円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	87,384円
わたしの未来設計<安定重視型> (分配コース)	9,820円
わたしの未来設計<安定重視型> (分配抑制コース)	9,820円
わたしの未来設計<成長重視型> (分配コース)	9,820円
わたしの未来設計<成長重視型> (分配抑制コース)	9,820円
北歐小型株ファンド (為替ヘッジあり)	9,821円
北歐小型株ファンド (為替ヘッジなし)	9,821円
ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	9,821円
グローバル・インカム・フルコース (為替リスク軽減型)	983円
グローバル・インカム・フルコース (為替ヘッジなし)	983円
<DC>ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	9,821円
Navio インド債券ファンド	296,406円
Navio マネーボールファンド	5,079,595円
三菱UFJ インド債券オープン (毎月決算型)	39,351円
三菱UFJ/AMP オーストラリアRETファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	11,293,333円

マネーブールファンド (FOF s 用) (適格機関投資家限定)	9,985,986円
MUAMトピックスリスクコントロール (5%) インデックスファンド (FOF s 用) (適格機関投資家限定)	7,134,289円
MUAMトピックスリスクコントロール (10%) インデックスファンド (FOF s 用) (適格機関投資家限定)	34,070,036円
ピムコ・グローバル・ハイイールド・ファンド (毎月分配型)	11,784,347円
ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Aコース (為替ヘッジなし)	10,766,608円
ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Bコース (為替ヘッジあり)	14,313,901円
三菱UFJ ターゲット・イヤーファンド 2020	15,653,542円
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2020	248,414,023円
合計	1,438,552,736円